

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第3回吉川市水道運営委員会
開 催 日 時	令和3年1月28日（木） 午後2時00分から 午後3時35分まで
開 催 場 所	吉川市役所201会議室
出席委員（者）氏名	飯塚貴利会長、阿部照義委員、遠藤義法委員、岡田和也委員、 豊田宇助委員、中島のり子委員、中島眞由美委員、平塚史子委員
欠席委員（者）氏名	宇野二郎副会長、戸張智之委員
担当課職員職氏名	水道課長兼技術管理者 秋谷裕司、 課長補佐兼施設係長 小島誠治、 庶務係長 大滝利和、 庶務係 鈴木麻紀子主任、石井史織主事
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 市長あいさつ</li> <li>4 議 事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）について</li> <li>(2) 令和3年度吉川市水道事業会計予算について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>5 閉 会</li> </ol> <p>【公開・非公開】公開</p>
非公開の理由 （会議を非公開に した場合）	
傍 聴 者 の 数	1名
会 議 資 料 の 名 称	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）（案）</li> <li>2 令和3年度吉川市水道事業会計予算書（案）</li> <li>3 令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）概要</li> <li>4 令和3年度吉川市水道事業会計予算概要</li> <li>5 令和3年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表</li> </ol>

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	遠藤義法委員 岡田和也委員
その他の必要事項	
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ 会長からあいさつがあった。
市長	3 市長あいさつ 市長からあいさつがあった。
事務局	会議に初参加となる中島眞由美委員を紹介した。
中島（眞）委員	中島（眞）委員が自己紹介を行った。
事務局	委員の出席状況を確認し、会議が成立していること及び傍聴者が1名いることを報告した。 会議は公開となることを報告した。 会議資料を確認した。
	（会長が議長となる。）
会長	会議録について、録音機器を用いた要点記録とし、遠藤委員と岡田委員を署名委員に指名した。
事務局	4 議事 (1) 令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）について 資料1「令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）（案）」、資料3「令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）概要」を用いて説明した。
遠藤委員	【意見・質疑等】 減免の決定を受けた147件のうち、一般家庭がどのくらいで企業がどのくらいあったのか。減免実施する前に860件はどのように見積もったの

	か。
事務局	制度設計時には、減免対象となる制度の申請件数などから対象者数を推計した。実績については、147件のうち、持続化給付金を要件とする申請が93件、残りが緊急小口資金などを要件とする申請だった。
遠藤委員	商売をやっている方から売り上げが減ったという話や工業団地内の中堅企業の方から厳しいという話を聞いているが、そのあたりの状況はわかるか。
事務局	持続化給付金が中小法人や個人事業主を対象としていて、93件で約90万円という実績だ。水道料金の徴収猶予を引き続き受けているが、支払いが困難という相談がないのが現状だ。
豊田委員	徴収猶予について説明してほしい。
事務局	支払が困難との相談を受けてから4か月徴収を猶予している。猶予期間経過後も延長の相談を受けている。
市長	減免を始める前に、支払いに困難を来す方がいると考えて支払いを先延ばしできる徴収猶予を始めた。その後、国から交付金が交付されることになったので、減免制度を実施した。
事務局	(2) 令和3年度吉川市水道事業会計予算について 資料2「令和2年度吉川市水道事業会計予算書」、資料4「令和3年度吉川市水道事業会計予算(案)概要」を用いて説明した。
岡田委員	<b>【意見・質疑等】</b> 施設更新事業をはじめとする4条予算について、もう少し平準化したほうが良い。有収率が約93%とのことだが、これを上げると効率的な経営につながるので、重点的に取り組んだほうが良い。総係費の委託料が増えた理由の説明をしてほしい。
事務局	工事の平準化については、事業を実施するための実施計画を策定しているところで、策定できれば計画に従って進めていく。石綿管布設替えと施設更新を並行して進めていかなければならない状況だ。有収率については、指摘があった部分に対応していきたい。総係費の委託料については、前年度まで原水浄水費で計上していた業務などを一括して総係費の委託料に計上することとなったためである。

岡田委員	<p>漏水調査のところで、個別の音聴調査を計画していると説明があったが、市内全域の圧力調査を実施したことはあるか。</p>
事務局	<p>圧力調査は実施したことがない。</p>
岡田委員	<p>配水管路の要所、要所で圧力調査をして、どこで圧力低下が起こっているか、範囲を絞ってから漏水調査をしたほうが、効率的である。</p> <p>また、吉川市は県水の供給に頼るところが大きい中で、会野谷浄水場は、新三郷浄水場の高度浄水の水と庄和浄水場の水が混ざって管理が大変(特に夏場)なことから、新三郷浄水場からの水を増やしてもらいたい旨を県に要望してもいいのではないか。</p> <p>最後に、職員が地域や団体に出向き、出前講座を行えば、市民にもっと身近に感じてもらえるのではないか。</p>
市長	<p>対応を考えたい。</p>
遠藤委員	<p>他の業務とまとめて発注する水質検査業務について、どのくらいの項目を検査するのか。また、1億8千528万円の委託料のうち、水質検査分はどのくらいの金額か。</p> <p>石綿管布設替事業について、計画はどうなっているのか。</p> <p>配水管布設替事業について、40年以上経過した配水管はどのくらいあって、計画はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>現在、水道法に定められた項目の検査と、それとは別に職員が毎週十数か所を水質検査しているが、合わせて委託業務に含める。委託額としては、水質検査分で約2,200万円である。石綿管布設替えについては、なるべく早く進めたいと考えているが、施設更新もあるので、石綿管布設替えだけを進めることはできない。配水管については、延命を図りながら、法定耐用年数である40年を超えて使用するという計画を立てている。収入支出のバランスを見ながら進めていくが、将来的には料金体系の見直しを委員に検討してもらおう可能性がある。</p>
岡田委員	<p>石綿管布設替えについては、石綿管は撤去しているのか。</p>
事務局	<p>石綿管を存置して布設替えできれば工事費は低く抑えられるが、道路管理者からは撤去を求められているので、原則すべて撤去している。撤去が不可能な場合は道路管理者と協議し、存置することもある。</p>

<p>事務局</p> <p>平塚委員</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>(3) その他</p> <p>3月定例議会に上程を予定している議案「損害賠償の額を定めることについて」の概要を説明した。</p> <p><b>【意見・質疑等】</b></p> <p>保険金の上限額はいくらか。</p> <p>3億円である。</p> <p>資料5を用いて令和3年度の運営委員会開催予定を説明した。</p> <p>(議事を終了し、会長が議長の任を解かれる。)</p> <p>5 閉会</p> <p>以上で終了。散会。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和3年3月5日</p> <p>署名委員 遠藤 義法 (自署)          署名委員 岡田 和也 (自署)</p>	